

多言語多文化研究に向けた複合型派遣プログラム
派遣先機関等利用マニュアル

2012年 10月 10日

派遣者氏名（専門分野）	藤本 真名美	（ 日本・東洋美術史 ）
-------------	--------	--------------

派遣期間	2012年 9月 9日 ~ 2012年 9月 15日
------	----------------------------

派遣研究機関

国	都市	訪問機関
台湾	台北	国家図書館（本館・藝術 暨視聴資料中心

利用マニュアル（利用申請に必要な書類、手続き、リサーチ方法を記入）

○利用申請に必要な書類・手続き

事前の準備は特に不要。

○リサーチ方法

国家図書館 本館

原則、英語・日本語は通じないが、6Fの日韓文室に日本語対応可能なスタッフがいる。入口左手のカウンターでパスポート、証明写真一枚（履歴書サイズ）、記入済みの申請書を提出し、入館証を作成の上、入館証のバーコードをゲートの機器にかざして入場する。荷物はロッカーに預ける。

< 期刊論文の閲覧・複写 >

日本でいう所の学術誌などの定期刊行物に掲載されている論文は、3Fの期刊文献中心で可能。開架資料は自由に閲覧可。書庫資料はカウンターで入館証と引き換えに出庫申請書に書名などの必要事項を記入し閲覧申請する。オンライン上でPDF化されたものを閲覧する場合は、入口カウンターのタッチモニターで利用開始時刻（30分単位で利用）と利用する座席を各自で指定し、入館証のバーコードを機器にかざしてPCの利用予約をする。混雑時は空席がないこともある。指定の時刻になったら、先程指定した席に着き入館証のパスワード4ケタを入力すれば利用可能。ウィンドウ上に残りの利用時間が表示されており、そこで30分毎に画面上に利用を延長するか終了するかを選択をする。複写はPCから印刷情報を送信した後、PCの利用を終了せずに利用しているPCの並びに設置されたコピー機のモニターで操作し、コピーカードを挿入すれば印刷可能。コピーカードは3F期刊文献中心入口外の印刷コーナーで購入できる（カード一枚100～300円）。

国家図書館 藝術暨視聴資料中心

本館から徒歩15分ほどの場所にあり、ロッカーで荷物を預け、本館で作成した入館証を提示し入場する。PC持ち込み利用可。開架図書は自由に閲覧できる。書庫資料は出庫申請書に必要事項を記入しカウンターで閲覧申請する。こちらのPCでも本館と同様にPDF化された期刊論文の閲覧・印刷が可能。大型図書、図集などが充実しており、最大A3サイズのカラーコピー（確か10円程度であったと思われる）も可能。

1Fは古代から現代までの美術・工芸等に関する中文・英文を中心とした書籍・期刊論文等の文献資料が開架されている。2Fは音楽・演劇関係の文献資料だけでなく視聴覚スペース、3Fは漫画専門のスペースである。